

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和2年 3月 23日

公表: 令和2年 3月 31日

事業所名 げんき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・活動部屋を2つ分けている ・一つの部屋にマットを敷いている	・指標該当児動が多くいる為、保育士、児童指導員の求人を継続して行っていく
	2	職員の配置数は適切である	2	3		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	・法人内で月1回研修機会を設けている ・ホームページにブログを不定期ではある ・外部研修に参加できる場合、派遣を行っている	・今回のアンケートの結果に基づき対応、目標等の検討を行っていく ・外部研修等の掲示等を行うことで研修参加率の向上を図っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		・児童発達支援計画の見直しに合わせ、支援状況等の確認を行い、見直しを行っている	・室内の環境整備、支援方法について現在立案中 ・学校の個別計画等を参考にしている ・朝礼のやり方を見直し、担当、役割の明確化を行っていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	3		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	4		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	2		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	<p>・担当者会議や学校等との連絡、調整については責任者を中心に行っている。また担当者会議の内容等を朝礼や会議時に報告を行い情報共有を行っている。新規放課後等デイサービス利用児童に関しては見学、体験を行って頂き不安の軽減を意識している</p>	<p>・放課後児童クラブや児童館との交流については怪我や事故時の対応について課題が多いため、現段階では考えてはいない。地域等で行われる行事については参加できる範囲で参加をして頂く</p>
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	該当なし			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	<p>・契約等に関しては責任者が対応を行っている ・鍵付きの書庫で個人ファイルを管理している ・相談等が保護者からあった場合はスタッフで情報共有を行い、責任者が対応を行っている</p>	<p>・父母会や保護者会、会報等について具体的な要望等がない為、現時点では考えていない。個人情報の観点や平等性を確保することも大切である為、個別対応で行っていく</p>
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		5		
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時、防犯マニュアル等については参考資料を参考に作成済み ・ヒヤリハットに関しては全スタッフで閲覧後、確認印を押すようにしている ・外部から講師を招き虐待防止の研修を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・正職員、非常勤職員を含め研修を行い、緊急時、防犯マニュアルについて確認を行っていきます ・半年に1回避難訓練等を行っているが、全職員で行えていない為、今後行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	4		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			